

第1回平戸市総合戦略策定委員会 次第

日時：平成27年5月18日（月）15:00～17:00

場所：市役所4階第2委員会室

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員紹介
- 4 市長挨拶
- 5 会長、副会長互選
- 6 会長挨拶
- 7 議 事
 - ①平戸市の現状についての説明
 - ②総合戦略策定にあたっての考え方
 - ③総合戦略策定体系図
 - ④総合戦略策定スケジュール
 - ⑤その他
- 8 閉 会

資料名：総合戦略策定委員会委員名簿

※氏名50音順、敬称略

	部門	所属等	氏名
1	住民代表	度島小学校PTA	アカギ ケイコ 赤木 径子
2	メディア	長崎新聞社平戸支局支局長	アラキ タツキ 荒木 竜樹
3	教育機関	長崎県立大学経済学部学部長	イシカワ ユウイチ 石川 雄一
4	住民代表	株式会社たけだ代表取締役社長	タケダ ケンスケ 竹田 健介
5	住民代表	ワイワイ本舗	タナカ ノリコ 田中 範子
6	産業界	ながさき西海農業協同組合常務理事	タブチ トシミ 田渕 敏視
7	行政機関	平戸市副市長	テラダ カツシ 寺田 勝嘉
8	労働団体	長崎県建設産業労働組合 平戸支部支部長	テラダ タカヒロ 寺田 孝弘
9	行政機関	江迎公共職業安定所所長	トミサキ カクジ 富崎 覚次
10	産業界	平戸市水産振興協議会会長	トヨマス ミキオ 豊増 見喜雄
11	金融機関	親和銀行平戸支店支店長	ニシハラ カツミ 西原 克美
12	メディア	西日本新聞社平戸支局支局長	フルカワ タカミツ 古川 剛光
13	金融機関	十八銀行平戸支店支店長	マツオ シノブ 松尾 忍
14	産業界	平戸商工会議所専務理事	マツヤマ ヨシヒロ 松山 芳弘
15	教育機関	北松農業高等学校校長	ユキナリ ケイスケ 行成 啓介

資料名：総合戦略策定にあたっての考え方

1 計画策定の基本的考え方

(1) 計画策定の趣旨

人口の現状と将来の展望を示した人口ビジョン及び人口動向や産業実態等を踏まえ、本市の創生に向けた施策の基本的方向と具体的施策をまとめた総合戦略を策定し、将来にわたり安心して住み続けられる平戸市の創出を図る。

(2) 計画の策定期間：平成 27 年度中に策定する。

(3) 計画の期間

① 人口ビジョン

国の長期ビジョンの期間（平成 72(2060)年）を基本とする。

② 総合戦略

平成 27(2015)～31(2019)年度の 5 か年間とする。

(4) 策定にあたっての予定

① 策定委員会の設置

産業団体、官公庁、教育機関、金融機関、労働団体、マスメディア（産官学金労言）及び市民で構成する策定委員会を設置する。

② ずっと住みたいまち創出本部の設置

庁内に市長を本部長とし、各部局長等で構成する創出本部を設置する。

（平成 26 年度設置の人口減少対策本部から移行）

専門部会を設け、個別事業の検討を行う。

③ 意識調査等の実施

計画策定における基礎資料として、意識・希望等の基礎調査を実施する。

④ 計画の策定

調査結果等を踏まえ、策定委員会で協議、計画を策定し計画書を作成する。

資料名：総合戦略策定にあたっての考え方

⑤ 市民の参加

計画策定においては、市民の意向を計画に反映する。

2 国（県）の総合戦略の勘案

市の総合戦略は、地方人口ビジョンを策定しこれを踏まえるとともに国及び県の総合戦略を勘案の上、策定することとする。

3 数値目標・重要業績評価指標（K P I）の設定

（1）基本目標における数値目標

総合戦略に盛り込む政策分野ごとに5年後の基本目標を設定する。この基本目標は、行政活動そのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として住民にもたらされた便益（アウトカム）に関する数値目標を設定する。

（2）各施策における重要業績評価指標（K P I）

各政策分野の下に盛り込む具体的な施策について、それぞれに対し重要業績評価指標（K P I）を設定する。

重要業績評価指標（K P I）：

Key Performance Indicator の略称。

施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。

4 戦略の対象となる政策

（1）政策分野の範囲

総合戦略は、まち・ひと・しごと創生に関するものであることから、その中に盛り込むべき施策としては、①しごとづくり②ひとの流れ③結婚・出産・子育て④まちづくりに係る各分野があげられる。

資料名：総合戦略策定にあたっての考え方

(2) 「政策5原則」を踏まえた施策の推進

国の総合戦略に盛り込まれた「政策5原則」（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）の趣旨を踏まえ、効果的に施策を推進する。

5 総合計画等との関係

総合戦略は人口減少克服・地方創生を目的としており、平戸市の最上位計画である総合計画等は、まちの将来像とそれを目指すための基本的な施策をあらわしたもので、まちづくりの基礎を担う計画であり、両者の目的や政策の範囲は必ずしも同じではない。また、総合計画等では数値目標や重要業績評価指標（KPI）の設定は義務付けられていない。

このため、総合戦略は総合計画とは別に策定することとする。

6 PDCAサイクルの確立

総合戦略を策定、着実に実施し、数値目標等を基に、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改定するという一連のプロセスを実行していく必要がある。

PDCAサイクル：

Plan-Do-Check-Action の略称。

Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。

Plan-Doとして効果的な総合戦略の策定・実施、Checkとして総合戦略の成果の客観的な検証、Actionとして検証結果を踏まえた施策の見直しや総合戦略の改訂を行うことが求められる。

資料名：総合戦略策定体系図



